

# 不二製油グループ 原料調達取り組み Webinar 2021

## ～概要～

気候変動と人権問題。経済活動の発展に伴い生じたこれらの問題は持続可能な社会を実現していくにあたり、解決すべき課題です。

グローバルなサプライチェーンの透明性・持続可能性が企業に求められる現代社会において食品素材メーカーである不二製油グループが原料として扱うパーム油やカカオ、大豆、シアカーネルもまた、森林破壊や児童労働など社会課題を抱えています。  
これらの課題に対してどのように取り組み、持続可能な社会を目指すのか。

本ウェビナーでは不二製油グループのESG経営、各原料が抱える社会課題と取り組みについて現況を交えながらお伝えいたします。

【開催日】2021年12月8日（水）

## Presenter



代表取締役社長  
酒井 幹夫



C"ESG"O  
門田 隆司



CEO補佐  
河口 真理子



グローバルサステナブル  
調達委員長  
科野 裕史

# 不二製油グループ 原料調達の実組 Webinar 2021

## プログラム

- ① 不二製油グループのESG経営と原料調達について
- ② 不二製油グループのサプライチェーンと原料調達KPI
- ③ 取組事例紹介
- ④ 現状の課題と今後の取組
- ⑤ 質疑応答



# 不二製油グループ 原料調達の実組 Webinar 2021

## プログラム

- ① 不二製油グループのESG経営と原料調達について
- ② 不二製油グループのサプライチェーンと原料調達KPI
- ③ 取組事例紹介
- ④ 現状の課題と今後の取組
- ⑤ 質疑応答





# 不二製油グループのESG経営と 原料調達について



代表取締役社長  
酒井 幹夫

## 植物性油脂事業

フライ用油脂、チョコレート用油脂など



## 乳化・発酵素材事業

クリームやマーガリン、カスタードなど



## 業務用チョコレート事業

チョコレート菓子、パン、アイス、ドーナッツなど



## 大豆加工素材事業

大豆たん白素材、大豆たん白食品など





大豆ミート



豆乳バター

- ✓ 地球環境への配慮
- ✓ 健康志向の高まり
- ✓ タンパク源不足への懸念



植物性食品素材で社会課題を解決する

**Plant-Based Food  
Solutions**



チョコレート  
(カカオ)



植物性油脂  
(パーム油、シアカーネル)

**Plant-Based Foodの未来を創るリーディングカンパニーへ**

## 不二製油グループの主原料



パーム油



カカオ



大豆



シアカーネル

## 主原料が抱える社会的課題

森林破壊

農家の貧困

強制労働

児童労働

生物多様性の損失

## 本ウェビナーの目的

原料の生産地における社会課題と弊社の取り組み

# Plant-Based Food Solutions

植物性食品素材で社会課題を解決する



不二製油グループのESG経営

第22回 グリーン購入大賞  
大賞・農林水産大臣賞受賞

**GPN** Green  
Purchasing  
Network



DISCLOSURE INSIGHT ACTION

**A LIST**  
**2021**

**CLIMATE WATER FORESTS**

# 不二製油グループ 原料調達の実践 Webinar 2021

## プログラム

- ① 不二製油グループのESG経営と原料調達について
- ② 不二製油グループのサプライチェーンと原料調達KPI
- ③ 実践事例紹介
- ④ 現状の課題と今後の実践
- ⑤ 質疑応答



# 不二製油グループのサプライチェーンと原料調達KPI

各種原料調達におけるKPIの詳細は当社のサステナビリティレポート2021にも記載しておりますので、下記リンクも併せてご参照ください。

## ・サステナブル調達マネジメント

<https://www.fujioilholdings.com/sustainability/social/procurement/>

## ・パーム油のサステナブル調達

[https://www.fujioilholdings.com/sustainability/social/palm\\_oil/](https://www.fujioilholdings.com/sustainability/social/palm_oil/)

## ・カカオのサステナブル調達

<https://www.fujioilholdings.com/sustainability/social/cacao/>

## ・大豆のサステナブル調達

<https://www.fujioilholdings.com/sustainability/social/soy/>

## ・シアカーネルのサステナブル調達

[https://www.fujioilholdings.com/sustainability/social/shea\\_kernel/](https://www.fujioilholdings.com/sustainability/social/shea_kernel/)

原 料	社 会 課 題	中長期目標
<p>パーム油</p> 	<p>地球環境 </p> <p>人権 </p>	<p>森林破壊ゼロ 泥炭地開発ゼロ 搾取ゼロ</p>
<p>カカオ</p> 	<p>地球環境 </p> <p>人権 </p>	<p>森林再生 児童労働撤廃</p>
<p>大豆</p> 	<p>地球環境 </p> <p>人権 </p>	<p>森林破壊ゼロ 搾取ゼロ</p>
<p>シアカーネル</p> 	<p>地球環境 </p> <p>人権 </p>	<p>森林保全 女性のエンパワメント支援</p>

原料	中長期目標	KPI		2020年度実績
		2025年	2030年	
パーム 	森林破壊ゼロ 泥炭地開発ゼロ 搾取ゼロ	TTP 75%	TTP 100%	71%
		労働環境改善プログラム 適用率 100% (パルマジュ エディブル オイル の全サプライヤー)	労働環境改善プログラム 適用率 100% (全直接サプライヤー)	10% (パルマジュ エディブル オイル の全サプライヤー)
カカオ 	森林再生 児童労働撤廃	植樹50万本	植樹100万本	1万本 (2021年に10万本実施)
		WFCL ゼロ	児童労働撤廃	ブラマー社がカカオ豆を直接購入している ・カカオ農家の83%：GPS使用マッピングを実施 ・共同組合の100%にCLMRSを構築
大豆 	森林破壊ゼロ 搾取ゼロ	第一次集荷場所までのトレーサビリティ確保、 またはRTRS認証品もしくはRTRS認証に 準じたその他認証品での調達率：100%	コミュニティレベルまでのトレーサビリティ確保、 またはRTRS認証品もしくはRTRS認証に準じた その他認証品での調達率：100%	(2021年度 トレーサビリティ等のKPI策定)
シアカーネル 	森林保全 女性のエンパワメント支援	植樹6,000本/年	植樹6,000本/年	(2021年度 トレーサビリティ等のKPI策定)
		農村レベルでのトレーサビリティ：50%	同左：75%	
		—	協同組合まで追跡可能な シアカーネル直接調達比率：75%	
		Tebma-Kanduからの 直接調達比率：30%	同左：50%	
		N/A	ガーナでのシアカーネル 搾油・分別比率：100%	
		フジ オイル ガーナのエネルギー 使用量の非化石燃料比率：100%	N/A	
		フジ オイル ガーナでの 正規雇用の社員数：50%増	N/A	

# グローバルサステナブル調達委員会

HDサステナビリティ  
推進グループ

カカオグローバル  
サステナブルチーム

パーム油グローバル  
サステナブルチーム

シアサステナブル&  
調達チーム

大豆グローバル  
サステナブルチーム

# 不二製油グループ 原料調達の実践 Webinar 2021

## プログラム

- ① 不二製油グループのESG経営と原料調達について
- ② 不二製油グループのサプライチェーンと原料調達KPI
- ③ **取組事例紹介**
- ④ 現状の課題と今後の取組
- ⑤ 質疑応答



# 原料調達の取り組み Webinar 2021 グループ内動画出演者一覧



## パーム油

- K・S
- 不二製油グループ本社株式会社 サプライチェーンマネジメントグループ（シンガポール）



## カカオ

- Andy Harner/アンディ ハーナー
- ブラマーチョコレートカンパニー VP Sustainability



## 大豆

- 山田 恵公
- 不二製油グループ本社株式会社 PBFSグループ



## シアカーネル

- Knud Larson/クヌッド ラーソン
- フジヨーロッパアフリカ Director of Sustainability & Supply Chain Management



## ヨーロッパの潮流

- Carmen Alvarado/カルメン アルバラド
- フジヨーロッパアフリカ Senior Sustainability Manager

# 不二製油グループ 原料調達の実組 Webinar 2021

## プログラム

- ① 不二製油グループのESG経営と原料調達について
- ② 不二製油グループのサプライチェーンと原料調達KPI
- ③ 取組事例紹介
- ④ **現状の課題と今後の取組**
- ⑤ 質疑応答

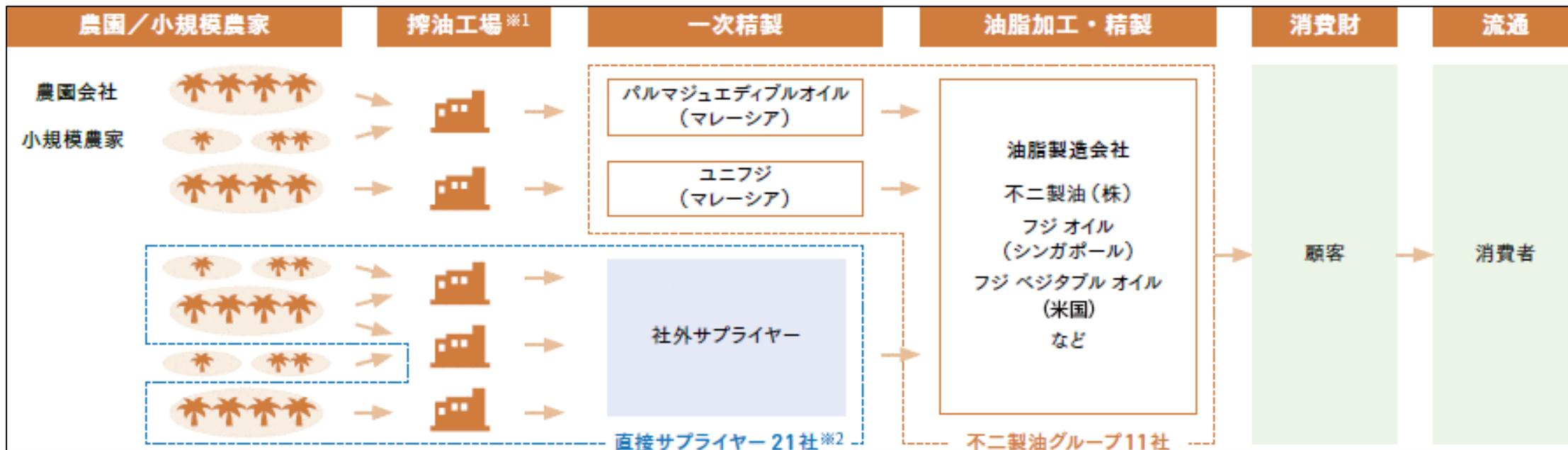


原料	中長期目標	KPI		2020年度実績
		2025年	2030年	
パーム油 	森林破壊ゼロ 泥炭地開発ゼロ 搾取ゼロ	TTP 75%	TTP 100%	71%
		労働環境改善プログラム 適用率 100% (パルマジュ エディブル オイル の全サプライヤー)	労働環境改善プログラム 適用率 100% (全直接サプライヤー)	10% (パルマジュ エディブル オイル の全サプライヤー)
カカオ 	森林再生 児童労働撤廃	植樹50万本	植樹100万本	1万本 (2021年に10万本実施)
		WFCL ゼロ	児童労働撤廃	ブラマー社がカカオ豆を直接購入している ・カカオ農家の83%：GPS使用マッピングを実施 ・共同組合の100%にCLMRSを構築
大豆 	森林破壊ゼロ 搾取ゼロ	第一次集荷場所までのトレーサビリティ確保、 またはRTRS認証品もしくはRTRS認証に 準じたその他認証品での調達率：100%	コミュニティレベルまでのトレーサビリティ確保、 またはRTRS認証品もしくはRTRS認証に準じた その他認証品での調達率：100%	(2021年度 トレーサビリティ等のKPI策定)
シアカーネル 	森林保全 女性のエンパワメント支援	植樹6,000本/年	植樹6,000本/年	(2021年度 トレーサビリティ等のKPI策定)
		農村レベルでのトレーサビリティ：50%	同左：75%	
		—	協同組合まで追跡可能な シアカーネル直接調達比率：75%	
		Tebma-Kanduからの 直接調達比率：30%	同左：50%	
		N/A	ガーナでのシアカーネル 搾油・分別比率：100%	
		フジ オイル ガーナのエネルギー 使用量の非化石燃料比率：100%	N/A	
		フジ オイル ガーナでの 正規雇用の社員数：50%増	N/A	

原料	社会課題	中長期目標	KPI		2020年度実績
			2025年	2030年	
パーム油 		<b>森林破壊ゼロ</b> <b>泥炭地開発ゼロ</b> <b>搾取ゼロ</b>	TTP* 75%	TTP 100%	71%
			労働環境改善プログラム 適用率 100% (パルマジュ エディブル オイル* <sup>2</sup> の全サプライヤー)	労働環境改善プログラム 適用率 100% (全直接サプライヤー)	10% (パルマジュ エディブル オイル の全サプライヤー)

\* TTP : Traceability to Plantation (農園までのトレーサビリティ)。

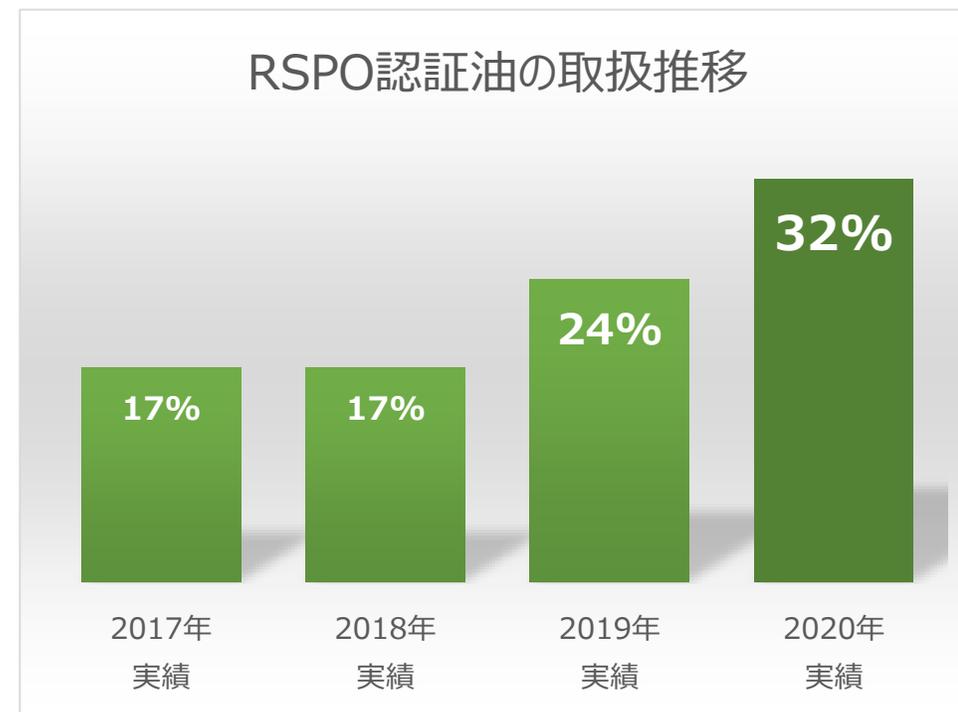
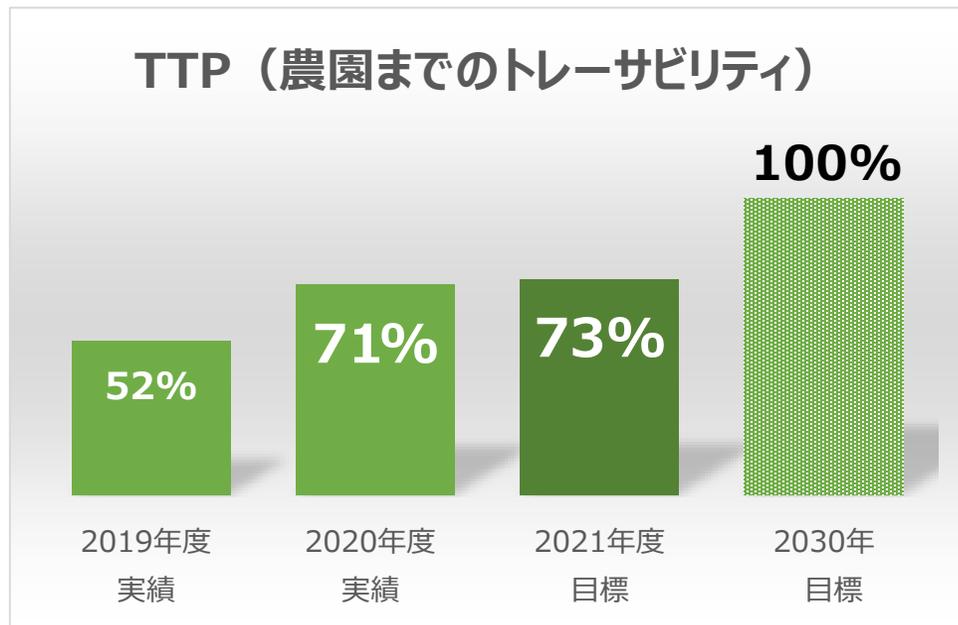
\* 2 パルマジュ エディブル オイル (マレーシア) : 不二製油グループ本社<sup>1</sup>の100%子会社の油脂製造拠点。



原料	社会課題	中長期目標	KPI		2020年度実績
			2025年	2030年	
パーム油 		<b>森林破壊ゼロ</b> <b>泥炭地開発ゼロ</b> <b>搾取ゼロ</b>	TTP* 75%	TTP 100%	71%
			労働環境改善プログラム 適用率 100% (パルマジュ エディブル オイル* <sup>2</sup> の全サプライヤー)	労働環境改善プログラム 適用率 100% (全直接サプライヤー)	10% (パルマジュ エディブル オイル の全サプライヤー)

\* TTP : Traceability to Plantation (農園までのトレーサビリティ)。

\* 2 パルマジュ エディブル オイル (マレーシア) : 不二製油グループ本社の100%子会社の油脂製造拠点。

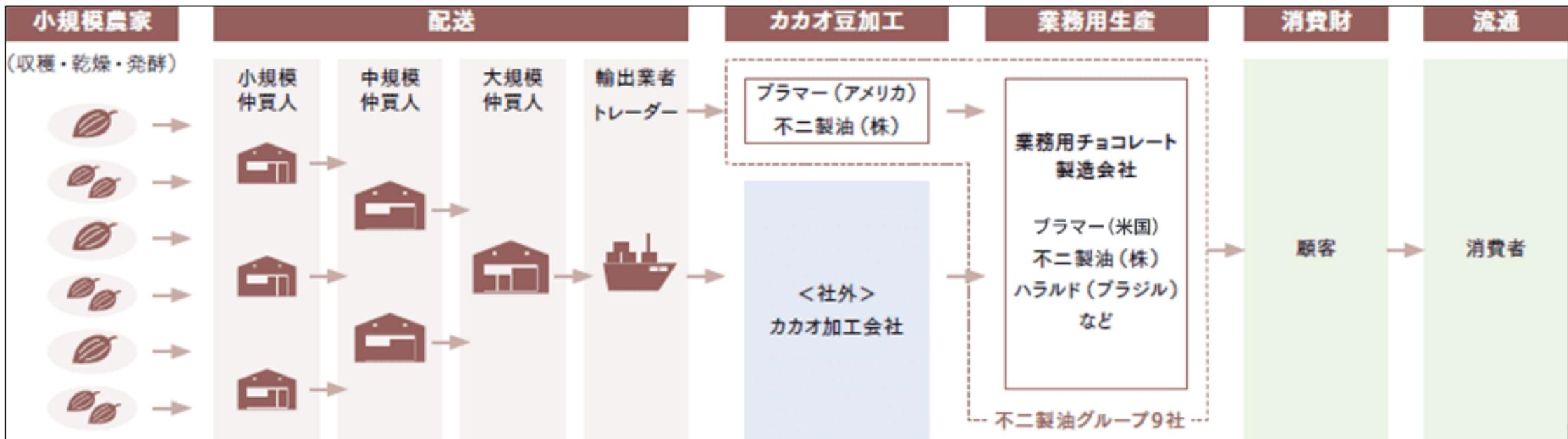


原料	社会課題	中長期目標	KPI		2020年度実績
			2025年	2030年	
カカオ 		<b>森林再生 児童労働撤廃</b>	植樹50万本*	植樹100万本	1万本 (2021年に10万本実施)
			WFCL* <sup>2</sup> ゼロ	児童労働撤廃	ブラマー社がカカオ豆を直接購入している ・カカオ農家の83%についてGPSを使ったマッピングを実施 ・共同組合の100%にCLMRS* <sup>3</sup> を構築

\* さまざまな種類の緑陰樹の苗木を2021年から2030年までの10年間で100万本植樹予定。

\*<sup>2</sup> WFCL : Worst Forms of Child Labour (最悪の形態の児童労働)。

\*<sup>3</sup> CLMRS : Child Labour Monitoring & Remediation System (児童労働監視改善システム)。



原料	社会課題	中長期目標	KPI		2020年度実績
			2025年	2030年	
カカオ 		<b>森林再生 児童労働撤廃</b>	植樹50万本*	植樹100万本	1万本 (2021年に10万本実施)
			WFCL* <sup>2</sup> ゼロ	児童労働撤廃	ブラマー社がカカオ豆を直接購入している ・カカオ農家の83%についてGPSを使ったマッピングを実施 ・共同組合の100%にCLMRS* <sup>3</sup> を構築

\* ささまざまな種類の緑陰樹の苗木を2021年から2030年までの10年間で100万本植樹予定。

\*<sup>2</sup> WFCL : Worst Forms of Child Labour (最悪の形態の児童労働)。

\*<sup>3</sup> CLMRS : Child Labour Monitoring & Remediation System (児童労働監視改善システム)。

目標 : 「カカオの持続可能な調達目標」の一つである生物多様性や気候変動対策として  
**2030年までの100万本の植樹**



**2021年実績 : ガーナ西部への10万本の植樹**  
 One Tree Planted との契約による



目標 : WFCL (最悪の形態の児童労働) ゼロに対して  
 農村コミュニティまでのトレーサビリティ改善を  
 非直接サプライチェーンも含め取り組むロードマップを作成し、その具体策を検討中

原料	社会課題	中長期目標	KPI		2020年度実績
			2025年	2030年	
大豆 	 	森林破壊ゼロ 搾取ゼロ	第一次集荷場所までのトレーサビリティ確保、 またはRTRS*認証品 or RTRS認証に準じたその他認証品での調達率：100%	コミュニティレベルまでのトレーサビリティ確保、 またはRTRS認証品 or RTRS認証に準じたその他認証品での調達率：100%	2021年度 トレーサビリティ等のKPI 策定

\* RTRS : Round Table on Responsible Soy Association (責任ある大豆に関する円卓会議)。

原料	社会課題	中長期目標	KPI		2020年度実績
			2025年	2030年	
シアカーネル 		<b>森林保全、 女性のエンパワメント 支援</b>	植樹6,000本/年*	植樹6,000本/年	2021年度 トレーサビリティ等の KPI策定
			農村レベルでの トレーサビリティ：50%	75%	
			—	協同組合まで追跡可能な シアカーネル直接調達比率：75%	
	フジ オイル ガーナのエネルギー使用量 非化石燃料比率：100%* <sup>2</sup>		—		
	—		ガーナでのシアカーネル 搾油・分別比率：100%		
	Tebma-Kandu共同組合からの 直接調達比率：30%* <sup>3</sup>		50%		
	フジ オイル ガーナでの 正規雇用の社員数：50%増* <sup>4</sup>		N/A		
					

\* 主にシアの木の苗木を2021年から年間6,000本植樹予定。

\*<sup>2</sup> 2023年目標、2021年比（75%）。シアカーネル搾油後の油粕（ミール）などを非化石燃料として使用予定。

\*<sup>3</sup> 2021年、2022年、2023年はそれぞれ10%、15%、20%をKPIに設定。

\*<sup>4</sup> 2017年比

# 不二製油グループ 原料調達の実践 Webinar 2021

## プログラム

- ① 不二製油グループのESG経営と原料調達について
- ② 不二製油グループのサプライチェーンと原料調達KPI
- ③ 取組事例紹介
- ④ 現状の課題と今後の取組
- ⑤ **質疑応答**

※事前に頂いた質問も含め、時間の都合上、Webinarでご紹介できなかった主なご質問にも回答させていただいております。



Q

サステナブル調達が進捗はユニフジの取り組みなど進んでおられますが、認証品以外と比較して収益性の変化はありますか。  
また、顧客に如何に商品価値を認めてもらい、価格反映していくか、価格戦略についてのお考えを確認させてください。

A

認証品のビジネスは特に欧州の多国籍企業の要求に応える形で始まりました。現在のSDGs の要求も国際世論になっていますので取扱い数量は拡大しております。ご質問の収益性に関しては中間に位置する不二製油の採算アップは確かに容易ではありません。  
認証油購入時のお客様のプレミアムコストに対する許容度はエリアにより若干の温度差はございますが、欧米を中心に大部分のお客様はその価値やプレミアムコストをご理解頂いておりますので、認証油ビジネスの収益性に大きくは影響ございません。本日のような説明化を含め、今後も認証油の持つ意義や価値について丁寧にご説明を行い、ご理解を得ながら収益性を確保していく予定です。

Q

児童労働に関する具体的な取り組みについての進捗や今後の計画などについて（特にガーナでの取り組みについて）うかがいたいです。

A

児童労働を撤廃という最終目標に向け、2025年までに最悪の形態の児童労働をゼロにしたい、と考えております。そのためにCLMRSという手法を用い、調達するカカオ豆についてはまずは網をかけていかなければならない。そのためにはトレーサビリティを改善することが必須との結論となりました。これには定義が必要で、現時点で一定の数量が集まるいわゆるコミュニティまでのトレーサビリティを定量化することにいたしました。現在仕掛けているガーナでの「プログラム豆」についてはトレーサビリティが実現できる設計になっておりますが、拡大していくためにはそのコストと時間がかかることも判明しています。今後はNPOとの連携も強化し、かつ市場に対するマーケティングも強化する必要があるかと思っております。

Q

日本において持続可能なチョコレートの供給はいつから始まるのでしょうか。

A

すでにガーナ産のサステナブルプログラム豆は調達を掛けております。  
来年以降、お客様と相談させていただきながら市場に供給してまいります。  
なお従来のUTZ認証などは都度、お客様のご要望に対応してまいります。

Q

大豆ミートなどの代替タンパクの普及を後押しするために、行政に対して何か働きかけをされているでしょうか。その効果は感じられていますか。

A

大豆ミートなどの代替たん白だけではなく、Plant-Based Foodを取り入れた持続可能なライフスタイルの普及啓発を目的に、今年3月、不二製油が幹事となり、業界の垣根を超えた15社でPlant Based Lifestyle Lab（通称P-LAB）を任意団体として設立しました。

今年10月には、さらなる活動拡大のため一般社団法人へ移行させ会員企業を増やし、当社は設立理事としてP-LABの活動を推進し、PBF認知や食と健康など生活者の意識調査を進めております。

また官との連携事例としては、農水省フードテック官民協議会にて「PBF普及推進Working Team」を今年4月に立ち上げ（事務局：P-LAB）、PBF普及における課題とその解決策について産官学民で多角的な視点で検討しています。その中での行政の後押しも期待しております。

Q

持続可能に作られた大豆を調達することへの最大のハードルは何だと感じていらっしゃいますか。

A

北米では比較的、サプライチェーンが透明化されております。しかし、当社は北米以外からも大豆を調達する機会が増えてきておりますので、サプライチェーンの透明化が必要だと考えております。現在、サプライヤーとのコミュニケーションを開始したところです。その中で、リスクをまず明確にして、サプライヤーとエンゲージメントを開始していくことになると考えております。

Q

個社で取り組みを進めることは重要ではあるが、人員面・予算面でも限界があるかと思う。業界全体、あるいは政府やNGOなど他のプレイヤーを巻き込んだ取り組みについてはどう考えているか。森林破壊や児童労働の防止など、サステナブル調達効果をさらに高めるには何が必要か。業界全体のガイドラインの策定が効果的との声もあるが、貴社がフロントランナーとしてリーダーシップをとっていくのか。

A

ご認識の通りNGO、NPO、現地政府を巻き込んだ取り組みを行っています。一企業で解決できる問題ではないので、関係団体、組織との連携が必要です。また、サステナブル調達の効果を高めるには、日本やアジアの場合、サステナブルな原料に対する認知を向上していただく必要があると考えております。引き続き日々取り組みを続け、それを適切に発信するよう邁進してまいります。

Q

バリューチェーンの持続可能性の取り組みと利益を結びつけるのがESG経営とのことですが、具体的にどのように両立させていくのでしょうか。サステナブル調達企業が企業の成長にどう貢献するのでしょうか。（カカオなど具体的な品目で例を挙げていただけますと幸いです）

A

ご存知の通り、調達がサステナブルでないと安定供給ができなくなります。事業の継続性に非常に重要であり、例えばサステナブルでないカカオ豆が政府の方針で輸入停止となったら製造原料がないためそもそも当社グループの製品が作れない、供給できないというリスクが発生いたします。例えばパーム油では、他社事例ですが、人権問題を起こした業者が輸入禁止になるという事業リスクがございます。弊社グループのユニフジのパーム油がSGグレード認証を取り扱うことで欧州で利益に貢献しております。サステナブル原料を使っていることによるコストの上乗せ分はお取引先にご理解をいただき取り組みを継続して実施してまいりたいと存じます。

サステナブルな原料調達、環境に配慮した生産活動、社会課題を解決する製品の提供が繋がって、顧客や消費者から価値を認めていただき、利益を創出する、このバリューチェーンを回すことで成長してまいります。

Q

不二製油のサステナブルな調達の実力が購買者によって評価され、他社の製品との差別化に成功しているとお考えでしょうか。欧州連合（EU）の政策への言及がありましたが、日本においてこれらの取り組みを進め、社会的な評価の向上につなげるための「政策」としてどのようなものがあるべきだとお考えでしょうか。

A

欧米を中心とした多国籍企業のお客様にはご理解いただいております。日本についてもお問い合わせや説明の機会が増えております。ユニフジのパーム油がSGグレード認証で欧州で利益に貢献している点は、差別化の成功例と考えております。このような取り組みをメディアを通じて一般消費者の方にご理解いただきたく、本Webinarを開催いたしました。一企業の努力で解決できる問題ではございません。今後は消費国政府・生産国政府・非営利団体と連携した官民プロジェクトでの取り組みが盛んになるものと思われま。

Q

生物多様性保全の話が出ました。調達とはちょっと違いますが、事業の中でのNature positiveを目指す、という姿勢を打ち出されてはいかがかと思いますが、いかがでしょうか？

A

生物多様性については現在、議論しておりますが、次年度より始まる新しい中期経営計画に沿って、発信させていただく予定です。

# 不二製油グループ 原料調達を取り組み Webinar 2021

ご視聴いただき、誠にありがとうございました。  
取材のお申込みやご質問等がございましたら  
不二製油グループ本社 広報部：[kouhou@so.fujioil.co.jp](mailto:kouhou@so.fujioil.co.jp) までご連絡ください。

# 用語集

用語	説明
ESG経営と当社調達方針	
CSV	Creating Shared Value
PBFS	Plant-Based Food Solutions、植物性食品による社会課題解決を行うこと。
パーム油	
TTP	Traceable to Plantationの略。パーム油のサプライチェーンにおいて、購入されたパーム油がどこの農園から来たものか追跡して把握する。
NDPE	No Deforestation, No Peatland development, No Exploitation。森林破壊ゼロ、泥炭地開発ゼロ、人権搾取ゼロ
泥炭地開発	英語ではPeatlandと呼ばれるが、少なくとも30cm以上の深さまで泥炭で覆われており、水分を多く含む植物などの分解が進まずに地中に埋まっているため大量の炭素を抱えているこの土地を開発することで水中に覆われていた土壌が空気に触れて植物などが分解されることで温室効果ガスが排出されます。また乾燥が進むと火災のリスクもあることが指摘されています。
RSPO認証油	RSPOは、正式名称を「持続可能なパーム油のための円卓会議(Roundtable on Sustainable Palm Oil)」といい、各工程の認証制度として、生産段階で「原則と基準(P&C)」に則って持続可能な生産がおこなわれていることの認証(P&C認証)と、認証パーム油がサプライチェーンの全段階を通じ間違いなく受け渡されるシステムが確立されていることの認証(SC認証)という、2つの制度を設けています。サプライチェーン認証には、3つの認証モデルと、1つのクレジットモデルがあります。 * WWFのRSPOに関する説明より抜粋。
グリーンバンスメカニズム	ステークホルダーから提起されたサプライチェーン上の環境・人権問題について、改善を促す仕組み。当社の定める調達方針（NDPE)に違反した調達や待遇をしているという申し立てが、従業員や取引先、第三者（NGO等）から証拠と共に示された場合、その申し立ての証拠が事実かどうかを含めて調査し、サプライチェーン上において事実であればその事項を改善するような対策を、取引先などと共に進めていくこと。
グリーンバンスリスト	サプライチェーン上で申し立てを受けた内容が事実である場合、その内容を公表し取組進捗を報告する。弊社の場合3か月に一度進捗報告をアップデートしている。
バイオファーム（BIOFARM）	2020年度より新たにWild Asiaが主導するBIO Farm Projectについても支援を開始。BIO Farm Projectでは、パーム油の小規模農家の収益性向上と農園の土壌の改善を目的に、化学肥料を使わない農法を農家に指導。例えば、切り落としたアブラヤシの葉など、農園で発生する廃棄物を肥料として活用する方法を小規模農家に伝授することで、化学肥料の使用を削減できるため、小規模農家にとってはコストカットにつながります。現在は一部の農家に対して試験的に教育・適用を進めている

# 用語集

<p>カカオ</p>	
<p>最悪の形態の児童労働 (WFCL)</p>	<p>●国際労働機関 (ILO) によると、以下の定義 (ILO条約182号)          法律で定められた就業最低年齢を下回る年齢の児童(就業最低年齢は原則15歳、健康・安全・道徳を損なう恐れのある労働については18歳)によって行われる労働。児童労働は、子どもに身体的、精神的、社会的または道徳的な悪影響を及ぼし、教育の機会を阻害します。          Worst Forms of Child Labor (最悪の形態の児童労働)          ①人身売買、徴兵を含む強制労働、債務労働などの奴隷労働          ②売春、ポルノ製造、わいせつな演技に使用、斡旋、提供          ③薬物の生産・取引など不正な活動に使用、斡旋、提供          ④児童の健康、安全、道徳を害するおそれのある労働</p>
<p>児童労働モニタリング改善システム (CLMRS)</p>	<p>国際カカオイニシアチブ (ICI。カカオ農園から児童労働を撲滅するため、食品メーカー、米国政府、ILO、労働組合、NGO、消費者団体などが2002年に共同で設立した組織。) による児童労働の関与を監視するシステム「児童労働監視改善システム (CLMRS)」。4つの主要要素 (Prevention, Detection, Remediation, Reporting) から成り立っており、現地において児童労働の防止から状況の改善までを1つのサイクルとして行っている</p>
<p>CLEF/ELAN</p>	<p>コートジボワールにおける効果的な学習と幼児期教育を大規模に推進することを目的に、1億5,000万スイスフランを目標とした2つのプール型資金調達機関を立ち上げるため必要な資金を共同で提供予定。一つ目のイニシアチブであるChild Learning and Education Facility (CLEF)は、質の高い初等教育を受ける機会に焦点を当て、カカオ栽培地域とその周辺地域の500万人の子どもたちと1,000万人の保護者を支援することを目指しています。2つ目のイニシアチブであるEarly Learning And Nutrition (ELAN) は、5歳未満の130万人の子どもとその保護者を対象に、幼児期の発達と栄養に関する質の高い教育とトレーニングを提供することを目的としています。コートジボワール政府は児童労働問題に取り組むための国家行動計画を策定し、10か年にわたる教育セクター戦略を立ち上げ、栄養に関し多分野にわたる計画を導入、人的資本を改善し、児童労働の根本原因に取り組んでいます。CLEFとELANのイニシアチブは、政府の取り組みを補完するものであります。* ヤコブ財団HPより抜粋</p>
<p>カカオおよび森林イニシアチブ Cocoa and Forest Initiative(C&amp;FI)</p>	<p>コートジボワール及びガーナ政府とカカオ・チョコレートの企業35社は、森林破壊を終わらせ森林を再生させるために、「カカオ及び森林イニシアチブ」に参画しました。この取り組みにおいては、2020年の国連生物多様性の日に向けて、最初の2年間の実施状況が報告されます。また現在までに、企業による農場マッピングによるサプライチェーンにおけるトレーサビリティの向上、カカオアグロフォレストリーによる持続可能な生産を増加させるための樹木の配布などを積極的に行っています。* 世界ココア財団HPより一部抜粋</p>

# 用語集

大豆	
Non-GMO	Non-GMOとはNon-Genetically・Modified・Organismsの英語の頭文字です。訳は「遺伝子組み換え体ではない」です。遺伝子組み換えは、病虫害から農作物を守るために、除草剤耐性が高く、除草剤の散布回数が削減できるので、生産コストが安く抑えられる利点があり、品種改良で世界的に発展しました。しかし、食品や環境に関する安全性について、多くの議論があり、食品向けに使用されるNon-GMO大豆の人気が高まりつつあります。
カントリーエレベーター	カントリーエレベーターとは穀物の貯蔵施設の一つのことである。巨大なサイロ（貯蔵ビン）と穀物搬入用エレベーター、穀物の乾燥施設及び調製施設などからなる。
リバーエレベーター	カントリーエレベーターから集められた農産物を輸出港まで輸送するまでの荷積み拠点。
エクスポートエレベーター	輸出用の大型貨物船に農産物を積み込むための港湾荷役施設。
RTRS認証	責任ある大豆に関する円卓会議（Round Table on Responsible Soy Association）認証は、大豆生産者、商人および加工業者が銀行および社会組織と協力する国際イニシアチブであり、世界中の持続可能な大豆耕作および大豆セクターの社会的責任が保証されます。
シア	
シアナッツ	シアの木は藪などに自生していて樹高は約7メートルから25メートルほどまで伸びるが、農地で管理されているものは15メートルから20メートル。寿命は100年以上。花を咲かせるまで約20年、実を付けるまでさらに約20年を要し、3年に一度実を付ける。葉は薄く8から10センチメートルと細長く楕円形で、小枝の先に集中している。花は黄色っぽいクリーム色で葉の付け根に単生し、一つの小枝に10から40個が咲く。果実は5から8センチメートルの卵形。果肉の中の種子は鶏卵ほどの大きさで固く、シアナッツと呼ばれる。
シーカーネル	シアナッツの中にある胚はシーカーネルと呼ばれ、これを加工するとシアバターになる。現地では神秘の木として崇められており、木への接触、実の収穫、圧搾、製造、販売を行うことができるのは女性のみである
シアバター	シアバターは主にナイジェリア、マリ、ブルキナファソ、ガーナ、コートジボワール、ベナンで生産されている。食用や薬として用いられるほか石鹸やクリームなどにも配合される。伝統的に国内で消費されていたが西アフリカ諸国にとって、近年は重要な輸出品目となっている。
Earthwarm Foundation (EF)	自然と人々が繁栄するためのスケラブルなソリューションを作成するために現場で活動している、影響力のあるグローバルな非営利団体。地球の重要な生態系の維持、自然保護・再生を目的に、企業、農家、NGO、および政府とのソリューションを提供。
欧州森林DD法	2021年11月にEU森林DD法のドラフトが欧州委員会（European Committee）より公表された。パーム油／カカオ／大豆を含む6品目が対象に含まれた模様である。さらに詳細な情報を確認中。